

コウリンギク

Senecio argunensis

キク科

カテゴリー

大分県 IA

環境庁 IA



種
子
植
物

大陸系遺存植物で、日本では大分県だけに分布する。火山性高原の丘陵地や低山地の草原に生える多年草。草丈60～150cm，根茎は木質となる。茎の上部で分枝し，茎頂に径2～2.5cmの多数の頭花をつける。舌状花は濃黄色。生育地はごく限られて点在し，土地開発のため消滅した所も生じている。現存する生育地は極めて狭く，個体数も少ない。一帯は放牧地の周辺地で，しかも道路沿いにあり，絶滅の危険性が極めて高い。

(写真・文：荒金正憲)

県内分布 玖珠丘陵地・山地，(九重火山群)，(由布・鶴見火山群)

分布域 九州(大分)

朝鮮半島，中国(東北部)，ダフリア